

国民健康保険制度について

岡山市社会保障推進協議会事務局長 米田信敏

1. 『社会保障と税の一体改革』と医療保険制度

TPP 推進にふみだした野田内閣は、消費税増税に執念を燃やし、『社会保障と税の一体改革』（『一体改革』）の具体化を急いでいます。『一体改革』の中で、国民健康保険制度の『改革』は、「全ての医療保険制度」の一元化がもくろまれています。そもそも、「全ての医療保険制度」の一元化は、2002 年、小泉首相・坂口厚生大臣の自公政権時代に、坂口大臣「私案」で公表されたものです。社会保障分野でも、民主党政権が、小泉『新自由主義』路線に、回帰したことを象徴的に示すものです。『一体改革』の行程表では、来年、後期高齢者医療保険と国民健康保険を一元化し、2025 年には、協会けんぽや健保組合をも統合しようという計画であります。一元化とは、岡山県単位での保険の統合であり、決して、岡山県が、岡山県民の命に責任をもつということではなく、後期高齢者医療保険を運営した「岡山県広域連合」の制度の再来です。後期高齢者医療制度の「広域連合議会」では、議会が形骸化し、岡山県議会も責任をもたない、『無責任体制』であることが明らかになりました。国民健康保険制度にとっては、一般財源からの繰り入れが、きわめて困難になることが予想され、市町村も、保険料の徴収業務など、権限もなく、責任だけが押しつけられる可能性が大きくなります。『一体改革』反対の運動は、国民健康保険制度を改善させる運動に結びついています。

2・国民健康保険制度の現在—死亡事例まで生む深刻な事態—

現在、国民健康保険制度には、どのような問題

が生まれているのか。真の改革は、県民・市民にとっての問題点を、住民の立場にとって、解決することこそ、真の改革です。全日本民医連が、経年的に実施している「国保実態調査」では、深刻な、国民健康保険の実態が報告されています。昨年は、民医連の院所で、71 名の死亡事例が集約されています。高すぎる保険料が払えず、保険証がない方とあわせ、正規の保険証をもちながら、窓口での医療費負担の高さを危惧した、受診抑制が現れています。岡山市の昨年のデータは、以下の通りです。

国保世帯	10.1 万世帯約
国保料滞納世帯	2.7 万世帯
短期保険証	6375 世帯
資格証明書	2386 世帯
資産差押え	956 世帯
国民健康保険料	1 人当たり 97754 円 (政令市で、上から 6 番目)

3. なぜ、このような事態が生まれるのか

岡山市の例にふれました。国保料については、所得の約 1 割が国保料という事態が、全国で生まれ、全国的な問題になっています。国民健康保険制度は、1958 年に、国民健康保険法として成立し、1961 年に、日本の国民皆保険制度が確立します。国民健康保険法第 1 条は、「この法律は、国民健康保険事業の健全な運営を確保して、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする」と、国民健康保険制度が、社会保障であること。憲法 25 条の理念が具体化されたことを簡潔に、述べています。それにもかかわらず、

国は、国保会計の国庫負担率を 1984 年の 9.8% の水準から 2007 年には、25% の水準に引き下げました。このことと、国民健康保険の加入者の約 5 割が、無職者など、低所得者の割合が高い保険制度であることが、死亡事例まで生む国民健康保険の実態を生んでいます。

4. 岡山県と国民健康保険制度

岡山県は、国の『一元化』の方向を支持し、基本指針を作成し、県内の自治体が策定の準備をすすめています。また、日本共産党岡山県委員会の昨年の調査によると、県財政からの市町村国民健康保険会計への繰り入れは全国平均の 12%、1 人あたり、全国が平均 257 円であるのに、岡山県は 31 円にすぎません。(資料①) 2011 年の 11 月 21 日に、岡山県社会保障推進協議会(岡山県社保協)が行った対県交渉でも、国保問題については、県は「資格証の発行は必要」「保険証の留め置きは納付相談の機会をつくるため」と回答し、社会保障制度であることを、全く認めない立場を鮮明にしています。

また、岡山県社保協が、2011 年 10 月 17 日から 21 日に、岡山県の全自治体を訪問・調査した「岡山県キャラバン」行動のデーターから、岡山県が国保に対して、果たすべき責任を考えてみます。それは、岡山県は、岡山県民全体に、憲法 25 条に基づく「健康で文化的な生活を保障する責任を」、市町村と協力しながら、果たす責任があると考えためであります。本来、市町村の国保の実態を掌握し、市町村格差を改善することは、県政の本来の課題であるといえます。「県社保協のデーター」から、全国的に、大きな問題になっています。①資格証明書発行問題②差押え問題③国保 44 条に基づく、窓口一部負担金減免の問題について検討します。

① 制裁措置としての「資格証明書」

全国的に、制裁措置としての資格証明書の発行は、後期高齢者医療保険制度の成立もあり、わずかに

減少傾向にありますが、岡山県は、増え続けています。(資料②・③) 長引く不況で、高い保険料が払えない県民の増加と県内の市町村が、自治体リストラによる影響もあり、被保険者との面談もせず、機械的な発行が横行している結果です。県社保協や岡山市社保協との交渉でも、国保が、憲法 25 条に基づく、社会保障制度であることを認めません。少なくとも、機械的な発行を市町村まかせにせず、国保加入者の立場にたち、悪質な滞納者であることが証明できない限り、資格証明書を発行を許さない県政を実現すること、あわせて、全くの無保険者の調査を実施させることも重要です。

② 差押え問題

国民健康保険料を滞納し、財産を差し押さえられる世帯が急増しています。(資料②・④)

県社保協の調査では、昨年、岡山県で、2751 件約 3.7 億円の金額が差し押さえられています。実態を明らかにさせ、人権侵害につながる差押えは、根絶することが必要です。

③ 国保 44 条に基づく医療費窓口一部負担金の減免問題

高い国保料とともに、「世界 1 高い」医療費負担が、受診抑制をまねき、病気の重篤化や死亡事例まで生んでいることが、全日本民医連や全国保険医団体連絡会の調査で、明らかになっています。昨年度の国保 44 条に基づく一部負担金減免の実施件数は、全国で 14660 件であり、大きな自治体格差を生んでいます。厚労省も、2010 年 9 月 13 日に通達をだし、きわめて低い基準ながら、全国共通の基準を示しました。しかし、県社保協キャラバンの交渉でも、担当課の認識も、極めて弱く、「要綱」や「条例」の整備は、極めて遅れています。住民への広報も弱く、09 年度は、岡山県全体で、23 件の実施にすぎません。国が示した「積極的」な施策こそ、県の責任で、周知、徹底すべきです。

5. 国民健康保険制度の改善に向けて

国保改善運動は、国と市町村に対する運動に比べて、要求の政策化が遅れている現状があります。全国のすすんだ経験を学びながら、政策化を急ぐ必要があります。私は、国が『社会保障と税の一体改革』の最大のねらいが、社会保障財源として、

消費税の福祉目的税化にあることから、私たちが、50年前、朝日訴訟第一次判決（浅沼判決）で勝ちとった、憲法 25 条の立場に、県行政をたたせることが、要求の政策化の柱のひとつであることを強調したいと思います。

-浅沼判決-

「(健康で文化的な)最低限度の生活水準を判定するについて注意すべきことは<中略>その時々为国家予算の配分によって左右されるべきものではないということである。」「最低限度の水準は、決して予算の有無によって決定されるものではなく、むしろこれを指導支配すべきものである。」

県下の資格証発行件数の推移

岡山県社保協

市町村	11(H23)年 (6/1)	10(H22)年 (6/1)	09(H21)年 (6/1)	07(H19)年 (6/1)	06(H18)年 (6/1)	05(H17)年 (6/1)	04(H16)年 (6/1)
岡山市	2,586	1,759	1,705	981	649	385	113
倉敷市	1,115	1,208	832	1,326	1,040	697	236
津山市	12	8	6	28	103	34	37
玉野市	8	16	20	31	33	41	56
笠岡市	260	197	207	169	155	200	234
井原市	29	31	37	27	35	32	36
総社市	3	0	0	0	0	0	0
高梁市	25	34	0	0	0	0	1
新見市	32	37	35	45	45	20	16
備前市	22	25	37	68	68	58	44
瀬戸内市	28	31	30	52	44	51	74
赤磐市	11	13	21	28	34	42	70
真庭市	67	40	35	64	84	55	86
美作市	42	65	64	69	70	59	69
浅口市	48	44	69	76	75	70	59
吉備中央町	20	19	0	0	0	6	7
和気町	19	22	33	51	38	54	51
早島町	0	0	0	0	0	0	0
里庄町	3	8	8	0	0	0	0
矢掛町	15	23	19	25	27	27	28
新庄村	0	0	0	0	0	0	0
鏡野町	5	7	0	0	0	0	0
勝央町	0	0	0	0	0	0	0
奈義町	15	11	15	9	2	6	5
西粟倉村	0	0	0	0	0	0	0
美咲町	12	12	17	17	7	12	10
久米南町	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,377	3,610	3,190	3,066	2,509	1,849	1,232